



つながり つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和7年2月21日
第53号
江別市教育委員会
総務課・学校教育課

4月からの中学校生活に向けた貴重な体験 ～中央中学校区 2回目の中学校登校と入学説明会～

1月28日（火）に中央中学校区で2回目の中学校登校と入学説明会が行われました。中央中学校では、対雁小と中央小の中学校登校をこれまで別日程で実施していましたが、今回初めて合同で行い、2つの小学校の児童で仮のクラスを作って一緒に授業を受けるように工夫しました。座席も対雁小と中央小の児童が隣り合わせになっていたため、朝読書や朝の会の時点では、少し緊張していたようでしたが、時間が経つにつれて徐々に慣れていきました。

1時間目は、中学校の先生による授業が行われました。教科は、1組が国語科、2組が理科、3組が数学科、4組が社会科、5組が英語科、特別支援学級が音楽科でした。グループ活動や実験、作業、ゲーム、クイズ等を通して、2つの小学校の児童が自然と会話できるように授業が組み立てられていて、小学校の学習と関連した教材や題材を扱った学習が進められました。特別支援学級では、中学生の先輩と一緒にグループで活動したので、わからないことはすぐに聞くことができました。また、対話やICTの活用等、中学校区で共通して研究している学習活動等も組み込まれていたため、小学校の子どもたちは違和感なく、楽しそうに授業に参加していました。

2時間目は、中学1年生の先輩たちの「中央中紹介」の発表を視聴しました。先生方の紹介、生徒会や部活動の様子、校舎の案内、授業や行事の様子、家庭学習や定期テストの留意点等について、動画や画像等を使ってわかりやすく説明してくれました。途中でクイズがあったり、音楽が流れたり等、工夫を凝らした内容となっており、小学生たちは、とても興味深そうに聴いていました。途中で拍手や笑い声が響き、「質問タイム」がある等、終始和やかな雰囲気の中で発表会が進んでいきました。

3時間目は、体育館に全員が集まり、入学説明会に参加しました。中学校の校長先生のお話を聞き、担当の先生から中央中の学習や生活についての説明を受け、4月からの中学校生活に思いを馳せていました。

今回の中学校登校は、2つの小学校の児童が同じクラスで過ごしたことによって、新たな友達となかよくなることのできたので、4月の入学に向けてまた一つ楽しいことが増えたようです。また、中学生の先輩と交流したり、中学校の先生の授業を受けたりすることができたので、中学校生活の雰囲気を味わうことができ、「中1ギャップの緩和」につながったことと思います。



国語科の体験授業



理科の体験授業



数学科の体験授業



社会科の体験授業



英語科の体験授業



特別支援学級の体験授業（音楽）



中学1年生による「中央中紹介」を聴く



中学校の校長先生のお話

目指す子ども像を共有し、系統的な指導を推進 ～2回目の第一中学校区・第三中学校区合同研修会の開催～

1月16日（木）に第一中学校区と第三中学校区の先生方が第一中に集まり、2つの中学校区合同の研修会を行いました。今回の研修会は、第一小の児童が第一中と第三中の両方に進学することを踏まえ、2つの中学校区で目指す子ども像や「スタンダード」を共有する等して、より効果的な「系統的な指導」や「一貫した指導」を推進していくために開催されました。教科部会や特別部会の協議では、「9年間を見通した系統的な指導」や「生活のきまり」「総合・キャリア教育」「小中接続」「児童会・生徒会」等について検討され、両中学校区の共通理解を図りました。



合同研修会での協議の様子

学校教育の中でできる「包括的性教育」とは ～大麻小の「包括的性教育」研修会に中学校区の先生方が参加～

1月16日（木）に大麻小で「包括的性教育」に関する研修会が行われ、大麻中学校区の大麻西小、文京台小、大麻中の先生方も参加して研修を深めました。看護師で「生」教育アドバイザーの山田 亜弥氏が講師となり、学校教育の中でできる「包括的性教育」についての講演を行いました。「包括的性教育」とは、子どもたちが自分の気持ちや体を大切にしながら、自分らしく、心地よく幸せに生きていくための知識やスキルを身に付けることを目的としています。また、自分や他人も尊重されるべき存在であることを理解し、「体のこと」だけでなく、人間関係や人権の尊重を含めた「生きることそのもの」を学ぶものです。山田先生の講演は、子どもたちへの指導や保護者対象の研修会での実践をもとにしたわかりやすい内容で、参加した先生方はこれからの性教育の在り方について、しっかりと学ぶことができました。



「同意と境界線」についてのお話